

# 令和7年度 鹿児島県いじめ問題子供サミット



令和7年12月26日(金)、県庁2階講堂において「令和7年度鹿児島県いじめ問題子供サミット」を開催しました。令和6年度に引き続き、会場だけでなく、オンラインでも多くの学校等が参加しました。

このサミットの目的は、いじめの問題について、子供たち自身が語り合うことで、いじめを許さないという強い気持ちを持ち、自分たちの手でいじめをゼロにしようという意識を高めるというものです。

「いじめ」は、誰もが「よくないこと」と知っています。しかし、実際には、相手の苦痛に気付かなかつたり、相談せずに抱え込んでしまったり、SOSのサインを見逃してしまったりと、様々な難しさがあるものです。

このサミットでは、子供たち同士の対話をとおり、いじめ問題への理解を深めるとともに、一緒になって真剣に考えてくれる仲間がいるという「つながり」を感じる場になってほしいという思いで、毎年度実施しています。

今年度も、各地区及び県立学校の代表校に参加していただき、いじめ問題の解決や防止に向けた取組



を紹介していただきました。また、鹿児島市ジュニアリーダークラブ「コアラ」による進行や会場でのサポート等により、校種や学年を超えた、活発な議論が行われました。

代表校による取組の紹介やいじめに関する議論をもとに、いじめ防止に向けた新たな発想が生まれ、それぞれの学校や地区における取組を広げていくきっかけになることを切に願っています。

## ACT1 各地区等代表校によるいじめ防止への取組発表

いじめ問題の解決や防止に向けて、各学校や各市町村等の地域がそれぞれ懸命に取り組んでいます。このサミットでは、各地区等の代表校に取組事例を発表していただきました。児童会や生徒会等が中心となり、それぞれの学校の実態に応じて、いじめ防止についての想いや願いを力強く訴えるものから、人権への意識や思いやりを育むものまで様々な取組がなされていることが伝わりました。

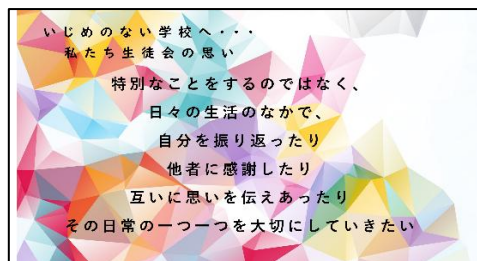


各校による発表の一部を紹介します。

### 鹿児島市：鹿児島市立伊敷中学校

- 三大伝統  
「門礼」「朝作業」「黙想」
- ソシオドラマ  
いじめ問題に関わる現状等を生徒会でドラマ化
- サンクスフラワー  
「ありがたかったこと」などを花びらに書いて掲示

⇒ 一人一人の日常の努力を大切に、いじめのない学校にしようという姿勢が伝わりました。



### 鹿児島市：日置市立土橋中学校

- スローガン作成で思いを共有  
「いじめゼロの学校へ 目標16 笑顔+信頼=友情！」
- 私の主張で安心感と信頼を築く  
「自分のことを自分のことばで伝える」→「どんな話も真剣にきく」
- 安心できる雰囲気づくり  
「とりあえずやってみる」⇔「よりよい方法を話し合う」

⇒ 互いの思いを大切に、いじめを寄せつけない学校にしようという姿勢が伝わりました。



## 南薩：枕崎市立立神中学校

- 「立神中学校いじめ0宣言」の作成  
「行動」「気持ち」「勇気」「優しさ」
- 全校生徒参加型レクリエーションの実施（年4回）  
「みんなで絆を深めよう貨物列車の旅」など
- 「ピンクシャツデー」プロジェクト  
ピンクシャツに、「いじめ反対標語」を記載し掲示

⇒ 生徒同士の話し合いを基に、いじめ0を目指していこうという姿勢が伝わりました。

### 【立神中学校いじめ0宣言】の作成

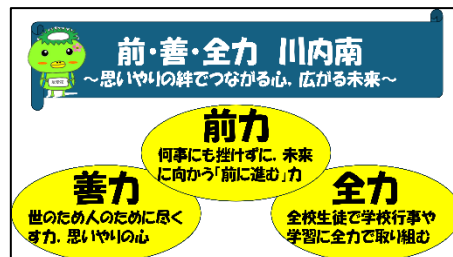
- 立神中学校いじめ0宣言  
～「いじめ」はいじめ側の問題～
1. 互いに相手の気持ちを考えて発言し、行動します。
  2. 生徒一人一人が「いじめを許さない」という強い気持ちを持ちます。
  3. もし、誰かがいじめをしていたら「やめなよ」と言う勇気を持ちます。
  4. もし、誰かがいじめられていたらそばに寄り添う優しさを持ちます。

行動 気持ち 勇気 優しさ

## 北薩：薩摩川内市立川内南中学校

- みんなで遊ぶ日の設定  
生徒や先生による思いやりの絆につながる一工夫を入れた活動
- きらりや思いやりの木の掲示・設置  
先生や友達への一人一人の感謝の言葉を記し掲示
- いじめを考える場の設定（生徒総会）  
いじめの場面を再現したソシオドラマからいじめ問題を考える

⇒ 全校生徒で学校をよりよくしていこうという姿勢が伝わりました。



## 始良・伊佐：始良市立始良小学校

- 児童総会で決定したことの実施  
議題1：「気持ちのよいあいさつやほかほか言葉を使う」  
→ ポイントカード作成  
議題2：「他学年と仲良くする」  
→ 全校レクリエーション実施
- 人権委員会  
全校児童が人権意識をもつことができるようにする取組実施

⇒ 安心安全な生活を基に、いじめのない学校にしようという姿勢が伝わりました。

### 人権委員会では

- ～思いやりのある発言をするために～
- ① みんなにやさしいよう。
  - ② 地域の人にも元気をあいさつしよう。
  - ③ 気持ちのよいあいさつやほかほか言葉を使おう。
  - ④ 失敗しても、相手をはげまそう。
  - ⑤ お礼を必ずお返し、くん、めんをつけよう。
  - ⑥ 友達のをりをし、自分のえさをいれよう。
  - ⑦ みんなで仲良くすごそう。
  - ⑧ 友達のをより、自分も元気にいよう。
  - ⑨ 自分でも、自分や相手の気持ちを考えよう。



## 大隅：志布志市立有明中学校

- 市5中学校生徒会いじめ撲滅サミット  
各校の取組発表、市長等との意見交換、関係機関との意見交換
- 有明中学校いじめ撲滅サミット  
いじめをなくすために大切なことは何かについての話し合い
- 人権についての取組  
人権について全校生徒で考える会、ピンクシャツ運動

⇒ 生徒会の行動力を中心に、いじめを撲滅していこうという姿勢が伝わりました。

### 市5中学校生徒会いじめ撲滅サミット



いじめ撲滅に向けた取組の発表をしました

## 熊毛：屋久島町立岳南中学校

- GFT (Good Friends Time)  
生徒会が中心となって企画・運営する、仲間づくりを意識した主体的な活動で、楽しさを共有
- 異学年合同意見交換  
課題について、学年の枠を超えた小グループによる真剣な話し合いで、明日からできる具体的なアクションを考え、全体で共有し実行

⇒ 楽しさと真剣さで、あたたかい学校にしていこうという姿勢が伝わりました。

### 本校の2つの取組



## 大島：和泊町立和泊小学校

- 運動委員会  
「うずしおタイム」、「10シヨンアゲアゲ運動プロジェクト」
- 人権集会  
仲間づくりの活動、人権標語づくり
- 授業の中で  
友達の意見を最後まで聞く、友達と協力して学習、自分の気持ちを友達に伝える

⇒ 仲間づくりを中心に、笑顔いっぱいの学校にしていこうという姿勢が伝わりました。



あしたをひらく心豊かでたくましい人づくり

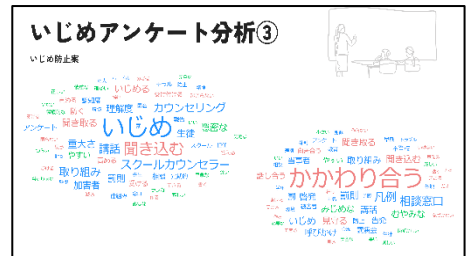
鹿児島県教育委員会



## 高等学校：県立川内高等学校

- 生徒会によるいじめアンケートの実施
  - ・ いじめの相談先、いじめの原因（選択）
  - ・ いじめ防止策、いじめへの意見（自由記述）
- 生徒会によるいじめアンケートの分析
  - ・ 学校と地域が協力し、関わり合いを増やす取組や相談窓口の充実、倫理観等を育てる講演会や啓発活動、早期に気づける環境づくりの必要性

⇒ 生徒会が主体となって、いじめ問題を解決していこうという姿勢が伝わりました。



各代表校の発表が終わるごとに、参加者から感想等の発表がありました。参加者からは、「生徒だけで企画から運営まで行う姿は、私たちの学校でも参考にしたい。」「全校児童の意見を反映させた取組をしているところが素晴らしい。」「一つ一つの課題を自分事として考えるようにしていくことで、いじめの未然防止につながるといった。」「取組の反省をしっかりと行い、それを次年度の取組に生かす方法は、いじめ問題のよりよい解決策につながるよい方法だ。」など、これからの取組に向けた積極的な意見が寄せられました。



### 児童生徒の感想

- 自校だけでは学べない様々な考えや取組があり、とても参考になった。各校の取組から、「いじめを許さない」、「いじめをなくす」という強い思いが感じられた。この場で学んだことを自分が生かすだけでなく、自校で広げていきたい。

### ジュニアリーダークラブ「コアラ」が活躍

「いじめ問題子供サミット」は、平成26年度開始の「いじめ防止子どもサミット」時代から、鹿児島市ジュニアリーダークラブ「コアラ」との共催により行われています。今年も、会場及びオンラインにおける進行や、議論に参加している児童生徒たちへのアドバイスまで、様々な面で活躍してくれました。



### オンラインでも活発な意見交換が行われました

今年度は300人以上の児童生徒がオンラインで参加し、代表校の発表視聴や活発な意見交換が行われました。



## ACT2 いじめについて本気で考えよう。

ジュニアリーダークラブ「コアラ」が作成した脚本に基づき制作された動画を素材に、学校生活の中での3人の生徒を中心とした人間関係について、参加者自身が気になった場面や問題があると感じた場面をグループ（学校）で出し合いました。

その後、多くのグループ（学校）で話題になったLINE メッセージも含まれる、いわゆる「ネットいじめ」の事例について、グループで意見交換をしました。

### グループから出された事例

- ゲームやスマホなどの機器所有の有無による仲間外れ、LINE グループ外し等
- 写真や個人情報の無断投稿
- 写真等の送り付け
- SNS等、本人のいないところでの誹謗中傷等
- 盗撮等

### あなたが気になる場面や問題があると感じる場面は



それぞれ考えたあと、お互いに意見交換しましょう。



## ACT3 ネットいじめをなくすために、自分たちに何ができるか考えよう。



最初に「ネットいじめの原因」について考え、ネットいじめを起さないために普段からできることは、どんなことがあるかについて議論しました。

参加者からは、「ネットのこわさは、相手が見えないことと簡単に発信できるところ。だから、画面の向こう側には相手がいるということ、送る前に相手の立場に立つことが大切だと思う。」「ネットいじめもそれ以外のいじめも結局は同じ。伝える方も受け取る方も、それぞれ、相手の立場になって考えることが大切だ。」「不快に感じる表現や程度は、人によって少しずつ異なる。だから、普段からコミュニケーションを取り、お互いを知っておくことで、いじめ未然防止につながる。」といった意見がありました。

### 児童生徒の感想

- 昨年度も参加したサミットだったが、今年は昨年と違ったアイデア、気付き等がたくさんあって、昨年と同様、とても素晴らしい時間を過ごせた。
- とても充実したサミットだった。小学生から高校生まで年齢は異なるメンバーだったが、いじめについて真剣に考える、本当の仲間だと感じた。一つの学校だけでは解決できない問題でも、今回出会えた仲間と一緒に解決できると思った。
- いじめ問題への対策がこんなにたくさんあるんだとびっくりした。日頃から「いじめ」について真剣に考える機会はなかなかない。また、学校の代表としてこんな場に来る機会もないので、とてもよい経験になった。学んだことを今後の生活で生かしたい。



## 全国いじめ問題子供サミットに参加しました（鹿児島市立伊敷中学校）



令和8年1月24日（土）、全国いじめ問題子供サミットが文部科学省で行われ、県代表として鹿児島市立伊敷中学校の生徒3人が参加しました。ポスターセッションでは、用意したポスターを使って、自校の取組を他県の児童生徒に紹介したり、寄せられた質問に堂々と答えたりすることができました。グループ協議では、テーマに沿って、他県の児童生徒と議論し、議論したことをメッセージにして発表することができました。参加した3人は、学んだ他県の学校の実践を、これからの自校の取組に生かしていきたいと意気込んでいました。

県教育委員会では、いじめを「誰にでも」「どこでも」起こりうるものとして捉え、子供たちの見守りに力を入れることでいじめを見逃さずにしっかりと認知し、早期に対応することを基本方針としています。また、児童生徒がいじめの定義や問題の難しさについて学習する機会を充実させ、主体的にいじめの未然防止に取り組むことを推進しています。

このリーフレットや各発表校の取組等を参考に、ぜひ各学校での取組の充実を図っていただきたいと思います。また、各家庭や地域においても、いじめの問題を、子供と一緒に考えていただければ幸いです。

## いじめに関する相談窓口（県教委実施）あなたの悩みに寄り添います。

電話で相談 **かごしま教育ホットライン24【通話料無料】**

「0120-0-78310」(固定電話・スマートフォン)、「0120-783-574」(固定電話専用)

SNS等で相談 **かごしま子供SNS相談・通報窓口（公立中高生が対象）**

かごしま SNS 相談

検索

